

分野別の施策展開方向

人づくり・組織づくり

府内各地に人材育成の拠点を配置し、新規就農・就業の相談から体験・研修・地域定着までの一貫した支援を行うとともに、発展段階に応じた経営力の強化を図り、京都の農林水産業を支える力強く、総合力を持つ人材の確保・育成を行います。

さらに、需要と結びついた産地化による力強い農業構造への転換を図るとともに、小規模・高齢農家の多い中山間地域では、小規模でも多様な農地活用や経営の多角化を進め、地域の実態に応じた持続的な農業を行うための仕組みづくりを進めます。

1 「京都農人材育成センター※」を中心に人材育成を推進し、新規就農・就業者の確保・定着と担い手のスキルアップを図ります

※行政や農林水産関係団体、商工関係団体、金融機関、大学が参画して創設

2 「新・京都府農業会議※」により、農地集積や「京力農場づくり」を推進するとともに、多様な担い手が共存・協働する持続可能な農業農村づくりを進めます

※京都府農業総合支援センターと平成30年7月1日合併

3 丹後王国「食のみやこ」の10次産業化や農業ビジネス支援を通じて、成長産業を担う人材や経営体を育成します

主な展開施策

- 京都農人材育成センター
- 学舎（丹後実践、海の民、畜産版、宇治茶）
- 「林業の星」ステップアップ制度
- 京都府農業会議
- 丹後王国「食のみやこ」で10次産業化を推進
- 京の農業応援隊
- 企業参入支援
- オーダーメイド支援
- きょうと農業ビジネスプラットフォーム

令和元年度予算での取組

1 人材育成の推進

- | | | |
|-------------------|-------|------------|
| ● 京都農人材育成総合対策事業 | 【一部新規 | 4億6,344万円] |
| ● 京都畜産未来の担い手づくり事業 | 【新規 | 400万円] |
| ● 海の民学舎事業 | 【継続 | 390万円] |
| ● 農と里を支える担い手育成事業 | 【継続 | 500万円] |
| ● スマート農林水産業加速事業 | 【新規 | 2億1,200万円] |

2 農地集積、「京力農場づくり」の推進や多様な担い手の確保

- | | | |
|------------------|-------|------------|
| ● 農地集積規模拡大支援事業 | 【継続 | 2億0,525万円] |
| ● 3万農家総元気づくり事業 | 【継続 | 2,200万円] |
| ● 京力農場づくり事業 | 【継続 | 6,275万円] |
| ● 新集落営農総合対策事業 | 【一部新規 | 9,408万円] |
| ● 農林女子の活躍支援事業 | 【継続 | 2,000万円] |
| ● アグリイノベーション創出事業 | 【一部新規 | 3,893万円] |



丹後王国「食のみやこ」

3 丹後王国「食のみやこ」で10次産業化の推進や農業ビジネス支援

- | | | |
|-------------------------|-------|------------|
| ● 京都農人材育成総合対策事業（再掲） | 【一部新規 | 4億6,743万円] |
| ● 農商工連携・ビジネス支援事業 | 【一部新規 | 7,933万円] |
| ● 「丹後王国」食と文化・観光の拠点づくり事業 | 【継続 | 962万円] |

地域づくり・絆づくり

少子化・高齢化により本格的な人口減少が進行していく中、過疎・高齢化地域に、地域マネジメント機能を持った再生拠点を設置し、生活環境の整備から子育て支援、農村ビジネスの創出まで、住民の暮らしを支え、命の里の取組を持続・発展するとともに、移住・定住を促進し、地域を支える多様な人材を確保・育成します。

さらに、農山漁村を支える基盤の整備や保全を着実に進めながら、多面的機能支払制度等の活用により、水・土・里が生み出す原風景を次世代に継承し、地域資源を活用した交流観光産業の創出による雇用の確保や所得向上を図り、活力ある農山漁村づくりを促進します。

1 「命の里絆づくりセンター(仮称)」を設置し、地域住民の共助・互助や集落間連携による持続可能な地域づくりを進めます

2 「京の田舎ぐらし・ふるさとセンター」を設置し、農山漁村地域の移住者の確保と多様なライフスタイルを支援します

3 美しい景観や伝統文化など、「人」、「もの」、「空間」を一体的に活用した交流観光産業を創出し、活力ある「美しい京都村」づくりを促進します

主な展開施策

- 命の里絆づくりセンター(仮称)
- 里の公共員・仕事人・仕掛人
- 京の田舎ぐらし・ふるさとセンター
- 京都府移住の促進のための空家及び耕作放棄地等活用条例
- 京都モデルファーム運動
- 京都移住コンシェルジュ
- 半農半X、週末居住
- 美しい京都村づくり
- 働き手需給システムの構築
- 京都版ふるさとCSA

令和元年度予算での取組

1 持続可能な地域づくりの推進

●農村型小規模多機能自治推進事業 【継 続 7,984万円】

2 農山漁村地域の移住者の確保

●京都移住促進プロジェクト事業 【一部新規 1億8,422万円】

●耕作放棄地再生推進事業 【継 続 1,225万円】

●新集落営農総合対策事業(再掲) 【一部新規 9,408万円】

3 「人」、「もの」、「空間」を一体的に活用した交流観光産業の創出

●農村型小規模多機能自治推進事業(再掲) 【継 続 7,934万円】

●京都移住促進プロジェクト事業(再掲) 【一部新規 1億8,422万円】

●中山間地域等直接支払事業 【継 続 5億3,600万円】

●「農・観」連携地域コミュニティ応援事業 【新 規 1,800万円】



公共員が参画する子どもたちの集まる場づくり



移住コンシェルジュによるセミナー

ものづくり・販路づくり

和食の無形文化遺産登録による京の食文化への注目度の高まりを好機ととらえ、府内産農林畜水産物と食文化をセットで国内外へ情報発信するとともに、中食・外食・加工需要の開拓、販路拡大などを進め、需要に応じた生産量の確保をめざし、生産体制の強化を図ります。

1 水田農業の再構築を図る「京力農場づくり」の推進により、高い需要と結びついた作物への転換を図り、効率化・高度化による生産拡大を推進します

2 6次産業化プロジェクトの推進やICTを活用した宅配サービス・直売所整備などにより、多様なニーズに対応した販路を確立します

3 和食の無形文化遺産登録や海外での和食ブームを追い風に、農林水産物や加工品を京の食文化と合わせて国内外に発信し輸出量を拡大します

主な展開施策

- 京力農場づくり
- ICT化、産地リレー
- 京のこだわり畜産物生産農場の登録拡大
- 健康京野菜
- 水産物産地加工体制整備
- 流通・販売首都圏戦略
- 京の食材マーケット開拓員
- 直売所ネットワーク化
- 京のおもてなし料理
- 京都産和牛肉「Kyoto Beef 雅^{みやび}」の輸出拡大

令和元年度予算での取組

1 「京力農場づくり」の推進

- 京の米農家維持緊急対策事業 【一部新規 2億1,560万円】
- 新集落営農総合対策事業（再掲） 【一部新規 9,408万円】
- アグリイノベーション創出事業（再掲） 【一部新規 3,893万円】

2 6次産業化プロジェクトの推進やICTを活用した宅配サービス・直売所整備

- 農商工連携・ビジネス支援事業（再掲） 【一部新規 7,933万円】

3 京の食文化と合わせた農林水産物や加工品の国内外への発信

- 京都農業経営強化事業 【継続 1億4,120万円】
- 「おいしい京都」府内戦略事業 【継続 2,501万円】
- 「おいしい京都」首都圏戦略事業 【一部新規 1,300万円】
- 「おいしい京都」世界戦略事業 【一部新規 2,100万円】
- 宇治茶世界文化遺産登録推進戦略事業 【継続 800万円】
- 京都牛輸出促進1億円事業 【継続 1,000万円】
- 宇治茶新展開セカンドステージ事業 【一部新規 400万円】
- 実需ニーズ対応型園芸産地づくり実証事業 【継続 1,600万円】
- 京の農林水産物ブランド力強化支援事業 【継続 730万円】



「京さわらの旨味だし」
（京の食6次化ビジネス
創出支援事業）

安心・安全づくり

消費者の信頼に応える農畜産物の産地づくりを推進するとともに、府民との連携による食育、「食」の情報提供やリスクコミュニケーション等により、府民が関心を持つ「食」の安心・安全を進めます。さらに、近年の気象災害の頻発に対応するため、森林や農業用施設に関わる府民協働によるハード・ソフト両面からの取組により、府民の暮らしの安心・安全を確かなものにします。

- 1 栽培方法や生育環境にこだわった農畜産物の生産や、農業生産工程管理(GAP)の導入など、消費者の信頼に応える産地づくりを推進します
- 2 農林水産業にふれあい、食べ物への感謝の心を育む実践型の食育と地産地消を府民協働により推進し、京の食文化を各世代に継承します
- 3 府民への戦略的な情報提供や食のリスクコミュニケーション、府民と一体となった食品表示の監視により、食の安心・安全を確保します
- 4 頻発する災害に備え、ハード・ソフト両面からの総合的な対策を促進し、災害に強い地域づくりを府民とともに進めます

主な展開施策

- GAP、有機農業、エコファーマー
- 府民協働による実践型食育
- 学ぶ、食べる、買う「京野菜ランド」
- 食の府民大学
- ハード・ソフト両面からの災害に強い地域づくり
- リスクコミュニケーション
- 家畜伝染病発生・まん延防止
- 森林適正管理条例
- 保安林指定等手続条例

令和元年度予算での取組

- 1 消費者の信頼に応える産地づくりの推進
 - 農と環境を守る地域協働活動支援事業 【継 続 10億0,500万円】
 - 京の農産物国際水準GAP普及促進事業 【継 続 680万円】
- 2 府民協働による実践型の食育と地産地消の推進
 - きょうと食いく先生活動拡大・強化事業 【新 規 910万円】
- 3 食の安心・安全の確保
 - 食の安心・安全推進事業 【継 続 200万円】
 - 食品ロス削減事業 【継 続 160万円】
- 4 災害に強い地域づくり
 - 災害に強い保安林整備事業 【一部新規 4億6,000万円】
 - 農林水産業基盤整備事業 【継 続 83億5,725万円】



きょうと食いく先生
(きょうと食いく共生活動
拡大・強化事業)



治山ダム

森林・緑環境づくり

木材生産をはじめ、災害防止や水源かん養、景観形成など、府民の生活環境を守り府民共有の財産である森林を健全な姿で未来へ引き継ぐため、林業・木材産業の活性化を図るとともに、府民参加の森づくりや木質バイオマスの有効利用を進めることにより、木材の利用拡大と適切な森林整備を推進し、森林の持つ多面的機能を発揮させ、豊かな生活環境の創造に貢献します。

1 需要ニーズに対応した府内産原木の安定供給体制の構築と府内産木材の利用拡大により循環型林業を推進します

2 幅広い府民の参画による森林づくりをさらに推進します

3 野生鳥獣被害対策を重点的に強化し、府民が安心して生産・生活できる環境づくりを進めます

4 内水面漁業の振興を図るとともに、府民とともに河川環境を保全する取組を進めます

主な展開施策

- 森林資源の見える化
- 豊かな森林継承
- 京都モデルフォレスト運動
- 大型加工施設立地
- 野生鳥獣対策
- CLTの活用促進
- 内水面漁業の振興
- 木質バイオマス有効利用
- 河川環境保全

令和元年度予算での取組

- 1 府内産原木の安定供給体制の構築と府内産木材の利用拡大**
- 林業「森世紀」創造戦略事業 【一部新規 9億5,302万円】
 - 低コスト木材生産体制づくり事業 【継続 400万円】
 - 新たな森林管理システム市町村支援事業 【新規 6,800万円】
- 2 幅広い府民の参画による森林づくりの更なる推進**
- 豊かな森林継承事業（再掲） 【継続 610万円】
 - 京都モデルフォレスト推進事業 【継続 500万円】
- 3 野生鳥獣被害対策の強化**
- 有害鳥獣総合対策事業 【一部新規 5億5,150万円】



府内産木材を使用した公共施設



モデルフォレスト運動